

大和駅東側フロンタードガーデンでの活動



BEFORE(2012年 4月21日)



AFTER(5月26日)

- * 女川町と同じ桜とアジサイをメインにしたガーデン です
 - * 看板ポスターを掲示して被災地情報の提供しています
- “被災地を忘れないで”

* 2012年5月26日 フロムナードガーデニングスタート



TVチャンピオンで有名な
ガーデンデザイナー金井
さんのご指導のもと、



まずは土作り・枠作り、
泉の森で作った堆肥がとても
役立ちました



大漁桜を植えて、支えを作り、



アジサイも植えました。

完成！ これから一週間、毎日、交代で水遣りです。



* 2012年10月25日植え替え、看板掲示更新



* 12月1日にイルミネーションの飾り付け



大きなポスターは
アイロンでラミネート
しています。

* 2013年3月9日 春向けガーデンの植え替え



* 2013年5月25日 ガーデンの手入れ



その後上映会ポスター掲示

* ガーデンのアジサイも綺麗に咲いてくれました。

* 来年は、大漁桜も咲くでしょうから、その下でお花見をする予定です！

広報活動

(1) ホームページ作成



チームしらかし華の会



私達は、東日本大震災で被災された方々に支援するために植物の型を育て、被災地の緑化を通じて復興を支援します。

☆ 活動履歴

☆ 協力企業・団体・個人 等

☆ リンク

☆ このサイトに書いて
ない合わせ先

☆ 会員専用のページ

活動状況のスナップ (クリックで拡大)

2012年までのスナップはこちら



2013/05/16 文川に67名出張



2013/05/16 文川での植栽



2013/04/25 桜会長の挨拶



2013/04/25 桜会会会議風景



2013/04/14 総会風景



2013/03/09 総会風景

最終更新日: 2013/06/23



国立国会図書館
インターネット資料収集保存事業

当会HPは、**後世に伝えるべき貴重な文化遺産**として、
国立国会図書館の
WebArchive
に永久保存された。

将来当会ではHPを維持することができなくなった後も、
当会の経験・知見を永遠に後世に伝えることができ、
当会活動の公益性が高まった。
(温故知新)

<http://www.geocities.jp/teamsirakasi/index.html>



チームしらかし

検索

(2) タウンニュース

2012.8.19

「奇跡の桜」を支援

女川町に泉の森のアジサイを植樹

伊藤さんは、3年前の定年を機にボランティアで泉の森で自然保護と公園の整備に携わっている。今年4月、震災の被害を受けた女川町に住む大卒時代からの友人、藤中郁生さん(63歳)に、津波被害を受け、今にも立ち枯れそうなる本の桜が3輪の花をつけた」と

西鶴間に住む伊藤健一さん(63歳)と市民10人が、東日本大震災で津波の被害を受けた宮城県牡鹿郡女川町で奇跡的に残ったソメイヨシノの再生に取り組んでいる。



泉の森でアジサイを育てる伊藤さん(中央)

「瓦礫の中で枝がほとんど無い状態に聞わらず、奇跡的に小さな新芽が出てきていた。その生命力に驚かされた」という伊藤さんだが、損傷は予想以上に深

く、伊藤さんは、3年前の定年を機にボランティアで泉の森で自然保護と公園の整備に携わっている。今年4月、震災の被害を受けた女川町に住む大卒時代からの友人、藤中郁生さん(63歳)に、津波被害を受け、今にも立ち枯れそうなる本の桜が3輪の花をつけた」と

「瓦礫の中で枝がほとんど無い状態に聞わらず、奇跡的に小さな新芽が出てきていた。その生命力に驚かされた」という伊藤さんだが、損傷は予想以上に深

く、伊藤さんは、3年前の定年を機にボランティアで泉の森で自然保護と公園の整備に携わっている。今年4月、震災の被害を受けた女川町に住む大卒時代からの友人、藤中郁生さん(63歳)に、津波被害を受け、今にも立ち枯れそうなる本の桜が3輪の花をつけた」と

く、伊藤さんは、3年前の定年を機にボランティアで泉の森で自然保護と公園の整備に携わっている。今年4月、震災の被害を受けた女川町に住む大卒時代からの友人、藤中郁生さん(63歳)に、津波被害を受け、今にも立ち枯れそうなる本の桜が3輪の花をつけた」と

く、伊藤さんは、3年前の定年を機にボランティアで泉の森で自然保護と公園の整備に携わっている。今年4月、震災の被害を受けた女川町に住む大卒時代からの友人、藤中郁生さん(63歳)に、津波被害を受け、今にも立ち枯れそうなる本の桜が3輪の花をつけた」と

く、伊藤さんは、3年前の定年を機にボランティアで泉の森で自然保護と公園の整備に携わっている。今年4月、震災の被害を受けた女川町に住む大卒時代からの友人、藤中郁生さん(63歳)に、津波被害を受け、今にも立ち枯れそうなる本の桜が3輪の花をつけた」と

く、伊藤さんは、3年前の定年を機にボランティアで泉の森で自然保護と公園の整備に携わっている。今年4月、震災の被害を受けた女川町に住む大卒時代からの友人、藤中郁生さん(63歳)に、津波被害を受け、今にも立ち枯れそうなる本の桜が3輪の花をつけた」と

2013.3.9

西鶴間の
伊藤健一さん

商店再興にひと役

宮城県女川町に手づくりの備品など



製作した木製備品
中央が伊藤さん

今回伊藤さんが取り組んだのは、女川高校のラウンジに建設中の仮設商店街の備品作り。昨年11月に女川町を訪れた際、仮設商店街で3月1日のオープンを目指す「海苔屋」の店主、島貫洋子さん(55歳)と出合った。同店は、女川町で30年以上続く地域の洋品店。島貫さんは震災の日、間髪を容れずに避難し助かったが、店舗は津波によって跡形もなくなり、さらにはまいった。しばらくは、自力で暮らすことにしたが、仮設商店街に建てられ、山田正さん(64歳)とすく

東日本大震災で津波被害を受けた宮城県牡鹿郡女川町の木製備品活動に取り組み伊藤健一さん(64歳)と西鶴間IIが、同町の仮設商店街の再興にひと役買っている。

に設計図を起し、製作に取り掛かった。3月を過ぎて、バイン材を使ったレジ台やテーブルなどを備品完成させ、3月2日に女川町に運んだ。店舗は購入した備品を見た島貫さんは、ありがたすぎて何も言えない」と感謝。「洋服の販売だけでなくカフェも併設し、癒しの場として運営していきたい」と笑顔で話していた。伊藤さんは、津波の被害を受けた女川町のメシイシジを再生しようと昨年4月に友人ら10人で「チームしらかば」の会を発足。定期的に被災地を訪れ支援を行うほか、桜を育てる事業となるアジサイの苗木500本を泉の森で栽培し、4月の植樹を目指して活動が続けている。

女川町民有志で作った「女川桜守りの会」らと共に桜の周囲で植栽を行う予定だ。「町民の希望である桜を影から支えたい。また、アジサイ以外にも被災地の緑化にも取り組んでいければ」と伊藤さん。同会では、アジサイを育てるボランティアを募集している。会費は年間2千円(高校生は無料)。問い合わせは、同会☎046(275)9304・伊藤さんへ。

西金屋員取ります
大和屋 書店
大和屋書店(0261-9166)

(3) FMやまと

聴いてください！
朝ラジ☆ホッとスクランブル
Kanagawa おへそラジオ[FM やまと]77.7MHz
大和市民活動センターだより「やまとっ☆みつけた」
隔週火曜日 9:00a.m.～
センターに登録している団体が出演
次回**11月15日(火)9:00a.m.～**
「チームしらかし華の会」
泉の森で挿し木やたい肥作りをして、自然に優しく緑を大切に活動しているグループ。



2011.11.15



2012.10.30

